

# 第1回生体恒常性とストレス応答セミナー

## T細胞の起源

### —造血における系列決定の過程—

理化学研究所・免疫アレルギー科学センター 免疫発生研究チーム

チームリーダー 河本 宏 先生

日時：2010年 1月14日（木）

18:00～19:30

場所：基礎研究棟1階セミナー室

造血の過程で多能性造血幹細胞は順を追って分化能が限定され、様々な系列に分化拘束された前駆細胞が作られます。従来の造血モデルでは、幹細胞は分化の第一段階でミエロイド系（骨髄系）・赤血球に共通の前駆細胞と、T細胞系・B細胞系に共通の前駆細胞（リンパ球系）を作り出すとされてきました。河本先生は個々の前駆細胞の分化能を測定する方法を独自に開発され、B細胞を作り出す能力を失っている胸腺の最も未熟な細胞集団が、T細胞に加えてNK細胞・樹状細胞・マクロファージを作り出す能力を保持した前駆細胞を含んでいることを明らかにされました。2008年4月10日号のNatureに掲載されたこの研究結果は、造血系列について教科書の記載を変える可能性があると考えられ、その後もさまざまなジャーナルに取り上げられ話題となっています。今、世界中が注目している研究の最前線をご講演頂きます。

主催：山口大学研究推進体「ストレス」

問い合わせ先：器官解剖学（解剖学第一）大和田祐二（2201）

